

一般質問通告書(平成 28 年 12 月定例会)

氏名・質問事項・答弁先	質問要旨
<p>1 13番 村上 和子 1 保健福祉分野を一か所で相談支援できる総合窓口の設置を (町 長)</p>	<p>平成 29 年 4 月より介護保険法に規定する、介護予防、日常生活支援事業は、町が主体となり地域の需要に応じて行うものとされた。 (1) 保健福祉課は、健康推進班・高齢者支援班・地域抱活支援センター・福祉対策班・子育て支援班・子どもセンターなどの班に分かれているが、高齢者や障がいのある方、子育て家庭等の相談支援や地域の支え合い拠点である地域抱活支援センターは、縦割りで中々分かりにくく、それらの対応を一か所で、健康づくり・介護予防の支援などこれからの生活の不安や心配ごとを受け止めて安心して住みなれた地域で暮らし続けることができる便利で身近な総合相談窓口の設置が必要と考えるがいかがか。 (2) これらの福祉分野に、精神保健福祉士、社会福祉士等の専門職を持つ人を設置してはどうか。 (3) 社会福祉協議会等とも連携した総合窓口というのはどうか。</p>
<p>2 子育て支援策として「妊娠・出産・子育て」トータルケア事業の実施について (町 長)</p>	<p>子育て支援策として、「妊娠・出産・子育て」これらを一つのトータルケア事業として、本当に支援が必要なところに必要なサービスが届く国や道の補助制度も視野に入れ、効果的な予算付けをし、利用者のニーズを適切に見極めるためにもアンケートの実施をしてはどうか。双子や障がいを抱える困難度の高い家庭には、支給額を 2 倍にするなど、支援の必要な妊産婦が安心して出産・子育てのできる町にしてはどうか。</p>
<p>2 12番 中瀬 実 1 農業振興計画の課題の進め方について (町 長)</p>	<p>上富良野町農業振興計画は、多岐にわたり計画されているが、重点課題を優先してよりスピード感を持って実施する必要があると思われる。 (1) 今後経営面積の増による人手不足に対しどのような対策を考えるか。 (2) 大雨等により農地防災・減災事業の取り組みについての考えは。 (3) スマート農業をどのような形で推進していくか。 (4) 作業効率の悪い畑作地帯の基盤整備、区画整理均平等の事業を推進する考えは。 以上の点を伺う。</p>
<p>2 町内の学校におけるいじめ、不登校に対する現状と対策・課題について (教育長)</p>	<p>国のいじめ防止対策推進法が施行され 3 年が経過したが、全国的にいじめに対する件数は増加している。この法律が効果を上げているとは思えない状況である。 町内の学校においては、いじめは少ないということであるが、初期の段階で、子供たちが発する SOS をしっかりとキャッチすることが重要である。 上富良野町でもいじめ防止の条例が制定されているが、次の点について伺う。 (1) 条例制定後いじめの件数は減ったか。未然防止・早期発見できたケースはあったのか。 (2) 中学校には、心の教室相談員スクールカウンセラーが配置され、教育委員会に SOS 相談窓口があるとのことだが、いじめ・不登校の相談件数は何件くらいあるのか伺う。</p>

<p>3 9番 荒生 博一 1 十勝岳ジオパーク構想について (町 長)</p>	<p>上富良野町と美瑛町で十勝岳山麓ジオパーク推進協議会を設立し、平成 29 年度の認定に向けて活動を行っているが、現在までどのような取り組みを行い、どの程度進んでいるのか、取り組みの状況と今後の進め方について、町長の考えを伺う。</p> <p>(1) ジオパークのパンフレットによると、ジオサイトを選定し、ジオパークの見どころとするとあるが、上富良野町では現在具体的にジオサイトは、どこを想定しているのか伺う。</p> <p>(2) ジオカフェや出前講座などで、町民の理解者を増やすためにジオパークの周知を行っているが、これまでどのような周知活動を行ってきたのか。今後は、ジオカフェや出前講座のほか、どのように町民に参画を求めていく考えか伺う。</p> <p>(3) 今年度中に申請書を作成し、平成 29 年度に申請すると聞いているが、現在申請書の作成状況はどのようなになっているのか伺う。</p> <p>(4) 現在の上富良野町の推進体制はどのような体制になっているのか、今のままで十分と考えているのか。また、今後上富良野町と美瑛町から職員を派遣し、自治体から独立したジオパーク推進事務局の整備が必要と思うが、町長の考えを伺う。</p>
<p>2 新しい賑わいづくりについて (町 長)</p>	<p>近年、家族や地域、職場などでは、「家族や地域のきずなが希薄化した」、あるいは「職場の人間関係が希薄になった」などの言葉が聞かれるが、最近では物の豊かさより心の豊かさが重視されるようになってきており、つながりは生活全般の満足度を高める効果があると言われている。そこで、当町に新しい賑わいと町民のふれあいをつくるため、盆踊りの復活と収穫祭の充実・発展を進める考えがないか、町長の所信を伺う。</p> <p>(1) 盆踊りを町として開催することは考えられないか。</p> <p>(2) かみふらの収穫祭をかみふらのまるごとプレミアムビールのビアガーデンとジョイントし、町内外より数多くの集客を図ることにより、新しい賑わいづくりの創出と町内消費の喚起・拡充が期待されるよう、大きなイベントにしてみたいかがか。</p>
<p>4 2番 岡本 康裕 1 市街地の活性化について (町 長)</p>	<p>駅前を中心とした活性化及び整備について伺う。</p> <p>かつては本町の中心として賑わいをみせていた駅前を中心とした一帯は、今は空き地が目立ち、また商店も少なくなっている現状にある。今までも商店街再開発・駅前再開発基本計画など、さまざまな試案がなされてきたが、具現化することなく今日まできている。</p> <p>そこで、次の点について伺う。</p> <p>(1) これからのまちづくりにおいて、駅周辺をどのような捉え方をしていくのか。</p> <p>(2) 鉄道で訪問される方々にとって駅は玄関でありその町のイメージにもなるが、観光の観点から駅周辺はどのような位置づけだと考えているか。</p> <p>(3) 平成 28 年度の執行方針で「新たな複合的機能を有する拠点づくりが重要」とあるが、駅周辺はその候補のひとつに上がっているか。</p>

<p>2 十勝岳の避難用シェルターについて (町 長)</p>	<p>平成 26 年の長野県御嶽山の大噴火や昨年の鹿児島県口永良部島の大噴火は、活火山十勝岳をいただく我が町上富良野町としても他人事とは思えない。隣町的美瑛町には最近シェルターが新設されたが、上富良野町側にはまだ設置されていない。平成 26 年度の決算特別委員会において、美瑛や十勝岳裏側の新得町とも要望活動をしていく旨の発言があったと記憶しているが、その後の活動内容と今後の展望を伺う。</p>
<p>5 11 番 米沢 義英 1 医療福祉施設の一体化整備について (町 長)</p>	<p>北海道新聞の報道では、町長の 3 期目の重点政策や調整における課題への取り組みについての取材の中で、町立病院、特別養護老人ホーム、病院内の老人保健施設を一体化する形での整備を目指していると答えているが、次の点について伺いたい。</p> <p>(1) 消防施行令等の一部改正では、病院には面積に関係なく、スプリンクラーの設置が義務付けられ、猶予期間として平成 37 年 6 月末までとなっているが、対応について。</p> <p>(2) 町立病院の改築をし、病棟、老人保健施設、特別養護老人ホーム等の一体的な複合的な機能を持ち合わせた施設として整備を検討しているのか伺いたい。</p> <p>(3) 町立病院の改築となれば、用地や財源の確保、検討委員会の設置も必要と考えるが、さらにラベンダーハイツの維持管理の今後についても伺いたい。</p>
<p>2 富良野線の維持存続について (町 長)</p>	<p>J R 北海道は、路線の維持存続が困難になったと述べ、10 路線 13 区間の廃止計画案が示され、富良野線も対象路線となっているが、路線の廃止などになれば、通勤、通学、通院、観光などの面にも多くの悪影響が出ると考えるが、次の点について伺いたい。</p> <p>(1) 富良野線は住民や関係自治体にとってもなくてはならない交通機関であり、町は路線維持存続のために関係機関に働きかけることが必要と考えるが。</p> <p>(2) J R 北海道から路線維持のための具体的な計画が町に示されているのか。</p>
<p>3 国保税の引き下げについて (町 長)</p>	<p>国は国民健康保険税の引き下げに使える保険安基盤安定負担金を交付しているが、国保税引き下げのために活用すべきと考えるが、対応について伺いたい。</p>
<p>4 中学生までの医療費の無料化について (町 長)</p>	<p>町では生活困窮者を対象に、医療費の無料化枠を拡充されようとしている。そのことも大切だと考えるが、多くの子どもを持つ親からは、医療費の無料化を中学生まで拡充できないのかとの声があるが、今後の対応について伺いたい。</p>
<p>5 中学生の指定ジャージの無償給付について (教育長)</p>	<p>中学生の指定ジャージの無償給付は、就学援助の拡充等を実施しているのでできないと答弁されてきた。しかし、他の自治体では保護者負担の軽減及び入学を祝う記念として支給する自治体もある。今後の対応について伺いたい。</p>

<p>6 10番 高松 克年</p> <p>1 国民健康保険制度の改正について (町 長)</p>	<p>平成 30 年度より国民健康保険制度が変わることにより、次の点をどのように考えているのか伺う。</p> <p>(1) 本町の国保加入者の所得水準が管内町村の下位に位付けとなっているが、これについて町長はどのように考えているのか伺う。</p> <p>(2) 保険(料)税は、現在との比較でどのように変わるか伺う。</p> <p>(3) 保険者努力支援があるというが、平成 28 年・平成 29 年に特別調整交付金から支援されるとのことであるが、町に具体的な数値が示されているのか伺う。</p>
--	--